

目 次

1. 災害発生から工事完結まで	1
1-1 災害復旧事業関係法令	1
1-2 災害発生から工事完結まで	5
2. 災害復旧事業の採択要件及び範囲	10
2-1 採択要件の基本	10
2-2 災害復旧事業の対象（公共土木施設）	11
2-3 災害の要件（異常天然現象の基準）	13
2-4 適用除外（法第 6 条・1）	15
2-5 災害復旧事業の範囲	27
2-5-1 災害復旧事業の定義	27
2-5-2 原形復旧	28
2-5-3 原形復旧不可能	28
2-5-4 原形復旧困難	31
2-5-5 原形復旧不相当	34
2-6 応急工事	40
2-6-1 国庫負担の対象となる応急工事費の範囲	40
2-6-2 応急仮工事の採択基準等	40
2-6-3 査定における応急工事の取扱い	42
2-6-4 応急工事例	45
3. 査定設計書の作成	53
3-1 積み上げによる積算	54
3-1-1 査定設計書の作成要領	54
3-1-2 査定設計書の作成要領	55
3-1-3 査定設計書記載例	59
3-1-4 査定設計書作成上の留意事項	63

3-2	総合単価による積算	70
3-2-1	総合単価の作成	70
3-2-2	総合単価の使用	70
3-2-3	その他の留意事項	71
3-3	査定設計書の添付写真	78
3-3-1	添付写真	78
3-3-2	添付写真の簡素化	78
3-3-3	一般的留意事項	79
3-3-4	新技術等の活用	80
3-4	災害査定 of 効率化	81
4.	査定業務	84
4-1	査定業務の流れ	84
4-2	実地査定	86
4-2-1	実地査定の流れ	86
4-2-2	災害査定 of 注意事項	88
4-3	机上査定	91
4-3-1	机上査定の流れ	91
4-3-2	机上査定 of 注意事項	91
4-4	決定金額等	93
4-4-1	朱入れ	93
4-4-2	失格、欠格（方針第10）	102
4-4-3	緊急順位（方針第11）	103
4-4-4	内未成、内転属	107
4-4-5	分冊、合冊	109
4-5	再調査	111
4-6	査定現場における技術的留意事項	113
4-7	河川環境の保全に配慮した復旧工法	115

5. 橋梁災害等	118
5-1 橋梁災の採択	118
5-2 砂防区域内の準用・普通河川の災害採択	121
(砂防法第3条の2の規定によって同法が準用される天然の河岸)	
6. 改良復旧事業	125
6-1 改良復旧事業の枠組	125
6-2 一定災と災害関連事業	129
7. 災害復旧事例	132
8. 財務省立会制度	141
8-1 立会制度について	141
8-2 財務検査要綱	141
8-2-1 財務事務処理要領(1)	142
8-2-2 財務事務処理要領(2)	143
8-2-3 財務事務処理要領(3)	144
8-2-4 財務事務処理要領(4)	145
9. 災害査定のがまえ	146
9-1 査定時における検査官の心得	146
9-2 現場申請主義	147
9-3 査定官回し	148
9-4 随行員の役割	148

—参考資料—

1. 査定官セルフチェック	149
2. 災害復旧事業関係法令	156
3. 用語の解説	163
4. 申請者心得 10 箇条	169
5. 査定官心得 10 箇条	170
6. 参考図書	171